

○エネルギー地産地消事業化モデル支援事業 (非常時対応型モデル)

※ご参考

平成29・30年度 エネルギー地産地消事業化モデル支援事業

先駆的なエネルギーの地産地消のモデルとなる取組について、システムの検討から設計・事業化までを一貫して複数年度にわたり支援する。

○補助率・期間: 定額(最大5年5億円)

○対象: 市町村、市町村と法人等で構成された共同体

【各地域(認定計画)の取組】

○畜産バイオマス[上士幌町(十勝)]

・畜産バイオマスを核とした資源循環・エネルギー地産地消のまちづくり事業

○地熱[弟子屈町(釧路)]

・地熱資源を活用した「弟子屈・ジオ・エネルギー事業」

○風力・水素利用[稚内市(宗谷)]

・再エネを活用したエネルギー地産地消モデル構築事業

○風力・太陽光・水素利用[石狩市(石狩)]

・小規模集落における独立グリッド整備とブロックチェーン技術活用による新たなエネルギー自給・地域循環モデル形成事業

令和元年2定補正予算提案事業概要(3件程度募集予定)

新たなモデル事業として、先駆的なエネルギーの地産地消事業化となるモデルであり、非常時にも対応可能となる取組を、システムの検討から設計・事業化までを一貫して複数年度にわたり支援する。

【補助対象、補助率及び限度額等】

(1)対象者: 市町村、市町村と法人等で構成された共同体

(2)補助率: 定額(10/10以内)

(3)期間・限度額: 最大3年: 5億円

※ただし、初年度に事業基本設計を策定できることを要件

○事業イメージ

例: 太陽光・風力発電+蓄電池+EMS(エネルギー管理システム)
: 畜産バイオガス+水素+自営線+熱利用+EMS
などの非常時にも対応可能な地産地消事業化モデルの取組

非常時にも対応可能な例

蓄電池

水素

自営線・
熱利用

※イメージにとらわれず、独創的な取組みを募集します！

地域におけるエネルギー地産地消
の取組への支援を通じた
新エネルギー導入促進へ！！